

目 次

—— 媒介者の復権 ——

はじめに	三浦國雄	i
通書『玉匣記』初探	三浦國雄	1
大雑書考	横山俊夫	25
—— 多神世界の媒介 ——		
古代中国の衣の位相	木島史雄	81
礼は飲食に始まる	ミヒャエル・キンスキー	97
—— 近世日本の作法書をめぐって ——		
食の媒介機能	北畠直文	143
—— 餅に関する考察 ——		
蔡温の「国」の思想	都築晶子	167
—— 唐と大和の間で ——		
琉球を守護する神	原田禹雄	191
東アジアにおける太子受難説話と王権神話	金文京	213
芙蓉城の出現	深澤一幸	225
明治期日本の非識字率について	リチャード・ルビンジャー	257
文楽・人形浄瑠璃の現在	後藤静夫	281
—— その多重媒介性を考える ——		
能の音楽の伝授	藤田隆則	295
—— 身体的な繰り返しと「ことば」 ——		
あとがき	横山俊夫	311
彙報 (2001年1月～2001年12月)		313